

平成 23 年 10 月 5 日 発行 / おもちゃの図書館全国連絡会 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-6-2 八重洲一丁目ビル 8 階
電話 03-3272-0072 Fax 03-5299-9011 E-mail: renrakukai@toylib.or.jp HP: http://www.toylib.or.jp/renrakukai/

2011年7月30日(土)～8月1日(月)

おもちゃ図書館キャラバン 活動報告 IN 南三陸・石巻・福島

7月30日、目の前に広がる光景に、言葉が無い。あの3月11日以後、ドキドキとした気持ちと、ボランティアの集いの際に、鈴木清美さんにお会いできたときのほっとした気持ち…。そして、やっとたどりついたキャラバンでの、南三陸町…。

7月31日のおもちゃ広場では、「いそひよ」のみなさんの笑顔に、励まされました。雨の振る中、思いっきり楽しく、歌を歌い、踊り、子供たちのおもちゃで遊ぶ笑顔にほほえみがこぼれました。おもちゃ図書館の原点がありました。ここから、始まりです。一步一步、確実に信念を持って、続けていく事に未来があります。参加された方々、送り出して下さった方々の、温かい心の絆に、感動しました。
おもちゃの図書館全国連絡会代表 小泉康代

7月30日(土) 東京駅を出発したバスは南三陸町へとむかいました。日本おもちゃ図書館財団からのご支援を受け、おもちゃ図書館のボランティア、そして縁のある方々総勢36名のキャラバン隊となりました。

31日(日)は、南三陸町の福興市にて移動おもちゃ図書館を開催。翌1日(月)には、石巻、福島、会津と3班に分かれての活動となり、各地で子ども達とのふれあいがありました。会津では、避難してきたお子さんのための児童デイ施設開所式に参加。皆様からいただいたおもちゃも寄贈させていただきました。



南三陸町・福興市にて
雨の中子ども達が大勢あそびにきてくれました



南三陸町
災害ボランティアセンター
台湾の子ども達からの
メッセージと鶴を届けました!



飯野あおぞら保育園(福島)にて マルモリダンス

5月にも南三陸に伺いましたがバスから見る南三陸の状況は今でも悲惨でした。今回の大震災の被害があまりに大きいため復興のスピードが遅いのだと痛切に感じました。

しかし、福興市に参加させていただき、生き生きと海産物や南三陸の方の顔や復興支援をする各地の商店街や商工会議所の皆さんを見て、南三陸の復興が歩みだしたと感じました。南三陸の町づくりのために頑張っている鈴木清美さんを応援する思いが更に強まりました。おもちゃで遊ぶ子どもたちの笑顔を見るにつけ、今回の福興市の中で、おもちゃの図書館全国連絡会のキャラバンの意義は大きかったと思いました。子どもの笑顔、それが復興に向けた一番の支援であり光です。この光を強く輝かせたいと思いました。(おもちゃの図書館全国連絡会顧問 山下敏夫)

おもちゃ図書館ボランティア北海道地区研修会

日時：平成23年9月25日(日)10時～15時

《参加者116名》

会場：苫小牧市民活動センター

講演：「支えあって共に生きる」(社会福祉法人ビバランド愛らんど 理事長 森岡永吾氏)

分科会①おもちゃの図書館 事例発表：①白石おもちゃ図書館・此田麗子氏 ②苫小牧おもちゃライブラリー・羽澤芳子氏
分科会②ワークショップ「手作りおもちゃ」マグネットをビーズでかざろう&ストラップ作り 指導：苫小牧おもちゃライブラリー藤原由美子氏
分科会③ワークショップ「おもちゃで遊ぼう！」指導：おもちゃの図書館全国連絡会事務局世話人 青塚和子氏



講師の森岡永吾氏



分科会報告の様子

【アンケートより】
*森岡先生のお話に胸があつくなりました。良いお話をありがとうございました。

*手作りのおもちゃ、とても楽しかったです。

*毎年参加しています。ほかのライブラリーを見学したり、お話を聞くのも楽しみです。

*地域の子育て支援活動に役立てていきたいと思いました。

*もっと若い方の参加もほしかったです。

今年度のボランティア地区研修会が、北海道地区よりスタート！おもちゃ図書館関係者だけではなく、地域の多くの方が参加して、賑やかな1日となりました。この後、全国各地でも開催されます、皆様のご参加をお待ちしています。

活動あれこれ～つながりの中から～

2011年9月3日(土) 文京シビックホール

☆第1回 全肢連地域支援大見本市
ぱりあふりーフェスティバル IN 東京



9月2日(金)3日(土)と、全国肢体不自由児者父母の会連合会結成50周年記念式典ならびに大会が開催されました。

3日(土)には、文京シビックホールにて「ぱりあふりーフェスティバル」も同時開催され、日本おもちゃ図書館財団ならびに、おもちゃの図書館全国連絡会も、出展させていただきました。また、志津川おもちゃ図書館いそひよより鈴木清美さんも参加。「被災地を応援しよう、ともに頑張ろうコーナー」に出展いたしました。

☆☆☆ボランティア国際年+10☆☆☆

日本が国連で提唱した「ボランティア国際年」が今年10年目を迎えました。日本では、推進委員会が設立され、「おこす」「つなぐ」「つたえる」活動に取り組みます。おもちゃの図書館全国連絡会も、推進委員会の一員として、広報部会でニュースレターの発行に関わっています。全国連絡会のホームページからリンクできますので、ご覧ください。新しいつながりでボランティアの輪を広げましょう。

HP <http://www.iyvplus10.com/>

《関連の活動》

*Make a CHANGE Day

1年に1回

10月に全国一斉ボランティア・市民活動をする日

HP <http://makeachangeday.com/>

*第20回 全国ボランティアフェスティバル TOKYO

(分科会を実施 11月12日・13日)



☆山科直治記念レジャー活動支援金～活動報告～☆

おもちゃ図書館の運営充実と活性化を図るとともに、子どもの遊びが潤いのある豊かなものとなることを目的として、財団法人日本おもちゃ図書館財団の助成金により、この事業が実施されています。

◇恒例のキャンプへ行きました！

おもちゃの図書館～“わ”の部屋～(青森県) 村上 和徳

おもちゃの図書館～“わ”の部屋～では、毎月第4土曜日の開館のほかに、年に数回、様々なイベントを開催していますが、その中でも恒例となっている行事に「キャンプ」があります。ちょうど10回目となる今年も、8月27・28日(土・日)の2日間、平川市にある「たけのこの里」へ出かけてきました。今年は、例年になく絶好の天気恵まれ、～“わ”の部屋～に来ている子どもたちと家族のみなさん、ボランティア総勢27人が参加しました。

キャンプ場にある遊具で遊んだり、川の中に入って虫や魚をとるなど、自然を満喫。夕食はみんなでバーベキューをしました。子どもたちは食欲旺盛で、用意したご飯がなくなるほどでした。その後は、花火をしたり、みんなで露天風呂に入ったりと楽しいひと時を過ごしました。

このキャンプは、子どもたちだけでなく、家族のみなさんやボランティアとの交流や親睦を深める貴重な行事となっていますので、来年もまた開催できればと思っています。



☆どうぞよろしく！新入会員の紹介☆

NO. 692 おもちゃ図書館ポトフ(北海道苫小牧市)



「お母さん、見て見て！この新幹線かっこいいよ！」レールの上を走る新幹線を見て、楽しそうにはしゃぐ男の子。ママゴト遊びやパズル、魚釣りゲームを楽しむ子どもたち。今年の1月よりスタートしました『おもちゃ図書館ポトフ』は保育士4名で毎月第3土曜日に開館しています。1月は20組の親子で賑わいました。

開館時間は午後3時15分～4時30分ですが、終盤はカルタ大会になったりお母さん達と子育て論議をしているうちに、終わり時間が午後7時になることもあります。自閉症スペクトラムなど、さまざまな個性の子どもたちが遊びにきてくれます。

まだまだ微力ですが、たくさん子どもとお母さんの笑顔であたたかくなる『ポトフ』にしていきたいと思っています。(おもちゃ図書館ポトフ 岡崎美加)

NO. 693 おおむたおもちゃの図書館くるりん(福岡県大牟田市)

おおむたおもちゃの図書館くるりんは、毎月第4土曜日の10時から大牟田市にある総合福祉センター内で活動を行っております。

昨年の10月にオープンしてから1年がたち、少しずつおもちゃの数も種類も揃ってきました。最近では、お母さんとお子さんのみで来るのではなく、お父さんも一緒に来られる方もいらっしゃいます。開館中は好きな時間に来ていただき、最後はふわふわをしておしまいです。「またくるね！」と次の開館日を楽しみに帰られるお子さんも増えてきました。そのお子さんの笑顔を見て保護者の方も自然と笑顔で帰っていかれます。現在は月に1度の開館となっておりますが、今後もほっとできる居場所のひとつとしてよりよい在り方を考えていきたいと思っています。

(おおむたおもちゃの図書館くるりん 伊藤綾華)



あそびにきてね！おもちゃ図書館 ～みんなちがってみんないい！～

おもちゃの図書館全国連絡会には現在465館が加入しています。一言でおもちゃ図書館といっても、さまざまな運営形態があり、それぞれ特徴を持ち、個性あふれる活動となっています。


今回は、おもちゃ図書館を運営形態別にご紹介し、そこにかかわる皆さんの声をお伝えします。みなさんのおもちゃ図書館はどのタイプですか？もちろん、まだまだ他にもいろいろなタイプがあります！

I・社協の事業として

〈荒川おもちゃ図書館子育て交流サロン〉(東京)

《一覧表の内容》

- ①設立の経緯 ②運営の中心 ③開館日・時間
④利用者・ボランティアの数 ⑤活動の中で大切にしていること
⑥悩み ⑦利用者・ボランティアからのメッセージ

①	1982年 障がいのある子どもをもつ親の会・荒川のそみの会が放課後の遊びの場としてスタート。 1986年 荒川区社会福祉協議会へ運営が変わり常設館となり、利用対象を障がいのある子どもだけではなく、地域の子ども達に広げる。 1988年 小児病棟へ移動おもちゃ図書館をスタート 2009年 子育て交流サロンとして専従スタッフ2名配置 ※現在、区内各所でも開館 ※1997年より 手作りおもちゃ「エプロンあばさん」 2000年より おもちゃ病院「トイドクター」併設活動中	
②	荒川区社会福祉協議会 専従スタッフとボランティアさん	
③	常設 毎週 火曜～土曜日 9:00～16:00 開館 年間開設日数 243日 (※水曜・土曜日 14:00～16:00 は、障がいの子ども専用時間としています)	
④	(年間) 利用者子ども 4,131名 (障がいのある子 269名) 保護者 3,488名 ボランティア 878名	
⑤	①障がいのある子どももない子どもも共に育つ場である～共育・共生の場 ②子どもから高齢者まで様々な世代、立場のボランティアによって活動が進められる。 ～地域の中で育つ。地域の様々な人々とのかわりの中で育つ ③保護者同士の仲間づくりの場 ④たくさんのネットワークをもつ。～地域のネットワーク・全国のネットワーク等	
⑥	おもちゃの収納スペースが足りません！ ※常設ですが、常に悩みです。	

II・保育園開設型

〈和泉おもちゃとしょかん〉(山梨)



①	地域の子育て家庭の親子の交流の場、障がいのある子もない子も一緒に、ともに育ちあう場として広く地域に活用されるよう、平成5年子育て支援センター内に開設されました。
②	和泉愛児園(保育園)和泉子供館(子育て支援センター) 職員とボランティア
③	開館日1か月 約26日 開館時間 1回につき5時間
④	利用者 1か月約200名 ボランティア 1回につき 1～5名
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきのびのび、親子がリフレッシュできること ・子育ての不安や悩みを仲間同士の触れ合いやアドバイスで、少しでも解消できること ・お話し会や講習会、リズム遊びなど気軽に参加できるような企画をしています
⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で子育てしているお母さんが気軽におもちゃ図書館に来られるようにしていくこと ・良いおもちゃを整備していくこと
⑦	とても明るくアットホームな雰囲気なので、子どもにはもちろんのこと、親にとってもとても居心地の良いところです！

Ⅲ・ボランティアグループ運営型

〈おもちゃ図書館赤ずきん〉(福岡)



①	障害児通所施設さるびあ学園において学園の子どもたちと外部の子どもたちとの交流を目的に24年前に始まりました。(現在は障害児も各学校・幼稚園で受け入れるようになったので、さるびあ学園は成人の通所施設になっていて子どもはいません。)
②	ボランティア
③	開館日 1ヶ月 2回 (1ヶ所) 開館時間 1回につき2時間
④	利用者10~20人 ボランティア平均5人参加(登録ボランティア12人)
⑤	利用者の希望に応じて柔軟な活動をする。ボランティアが無理をせずできる活動にする。(ボランティアの余裕がある時は、臨時開館や開館時間の延長をするなど)
⑥	障害児の利用が少ないこと。
⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・暖かい雰囲気ですぐに過ごせます。 ・お譲りの交換や親同士の情報交換ができて楽しい! ・おもちゃ病院の先生が来られるので個人のおもちゃの修理も頼める。



Ⅳ・親グループ運営型

〈清州おもちゃ図書館ひだまり〉(愛知)



①	近隣にあったおもちゃ図書館(現在、愛西市の『おもちゃ図書館ちゃお』)に子どもと遊びに行くようになり、おもちゃ図書館の魅力にハマリ、自分達の住む地域にもおもちゃ図書館がほしいと思うようになりました。その頃、地域でともに活動していた親子サークルの中で声をあげたことで周囲の理解を得つつ、立ち上げることができました。(平成16年設立)
②	現在、設置は社協ですが、運営委託を一年更新でうけ「清州おもちゃ図書館ひだまり」のボランティアが中心となって運営しています。
③	*定期開館 月1回 1回につき5時間 *移動おもちゃ図書館 月1回 1回につき3時間 *夏休み開館 4~5回 1回につき5時間
④	利用者: 定期開館日 4~5名 移動 3~4名 夏休み 4~5名 ボランティア: 定期開館日 5名 移動 4名 夏休み 5名
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で障がいを持った子ども達の居場所づくりをすること。 ・子ども達の成長を長い目で見守っていくこと。 ・定期的に活動すること。 利用者が少なくなりつつありますが、活動していることで、そこに行けば誰かがいる安心感を持っていただけることを大切にしています。
⑥	立ち上げた当時とは、社会の様子も随分と変わってきました。支援費制度が始まり、自立支援法へと変わっていったことで子ども達の余暇活動の選択肢も増えました。また、自分達の子どもも成長し、早社会人へとなりつつあります。そんな中で自分達のおもちゃ図書館は時代のニーズにあっていけるのだろうかと考えます。おもちゃ図書館を必要とする次の世代へどう引き継いでいくかが課題です。活動の魅力を上手く伝えられないことがもどかしく感じます。
⑦	私たちは利用者であり、ボランティアでもあります。月に一度ですが子ども達と自由におもちゃで遊んだり、のんびり過ごしたり、いろいろなおしゃべりをする中で時には情報交換もしています。親のグループが開設しているからこそ、子ども達のそれぞれの成長がわが子のこのように身近に感じられます。



おもちゃ図書館 仲間の皆様へ

おもちゃの図書館全国連絡会

3月11日の大地震から7カ月が過ぎようとしています。これまで全国連絡会へ様々な形でご支援、ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。時間の経過とともに、支援の形も、現地の皆さんの状況も刻々と変化していきます。おもちゃの図書館全国連絡会は、被災された地域の皆様と共に、各地の関係機関と協力しながら息の長い支援活動をすすめてまいります。

1 支援の内容について 《大きく二つの支援を柱にしています》

I 被災地のおもちゃ図書館への支援

II 被災地や避難所において障がいのある子ども達も安心して遊べる場所作り

2 これまでにいただいた支援金

*皆様からの緊急支援金 10月5日現在 215件 2,960,365円

*英国玩具協会より活動支援金をいただきました(5月) 1,283,200円

*日本おもちゃ図書館財団より、移動おもちゃ図書館(キャラバン)等に200万円の支援を申し出ていただき、7月よりキャラバンを開始しました。

☆日本おもちゃ図書館財団より志津川おもちゃ図書館いそひよに「特別支援金」をいただきました。

*8月のミニキャラバンの際、日本おもちゃ図書館財団の山科誠理事長が南三陸町を訪問。いそひよの活動、そして福興市にもご参加いただき、福興市のステージでは支援金贈呈式が行われました。



福興市ステージにて 支援金贈呈式
左より鈴木清美さん、山科理事長、
峯島副代表、千葉さん

3 活動報告

*8月27日(土)28日(日) ミニキャラバン実施

*9月24日(土)25日(日) ミニキャラバン実施

・南三陸町おもちゃ図書館いそひよ開館お手伝い

・南三陸町福興市での移動おもちゃ図書館実施

*9月17日(土)～19日(日)

塩尻おもちゃ図書館 今井さんによる移動おもちゃ図書館(石巻市・陸前高田市)

4 手作りおもちゃの募集 以下のようなおもちゃを随時募集しています。

①みんなで遊べるようなおもちゃ(まとあて・魚釣り・タペストリーなど)

②お土産用として差し上げられる小さなおもちゃやぬいぐるみ、マスコット



5 今後の活動について

*10月～ 月末の福興市開催に合わせ移動おもちゃ図書館実施予定(南三陸町)

*10月 秋田グリーンローズおもちゃライブラリー 宮古にて移動おもちゃ図書館実施予定

塩尻おもちゃ図書館 陸前高田市 石巻市にて移動おもちゃ図書館実施予定

荒川おもちゃ図書館子育てサロン 釜石市にて移動おもちゃ図書館実施予定

*11月13日(日) 全国ボランティアフェスティバルにて

震災活動とおもちゃ図書館についての発表・手作りおもちゃの制作

お願い



*各地の避難所等で移動おもちゃ図書館を開いた、または開こうとするところは事務局へご連絡下さい。トイ・ポストで紹介、また使用のおもちゃの支援などの用意があります。

【震災支援金の口座】

三菱東京UFJ銀行 築地支店

(口座番号) 0077735

(口座名)

おもちゃの図書館全国連絡会

代表 小泉康代 災害支援口

《東日本大震災緊急支援金をいただきました》 順不同:敬称略

2011年10月5日現在

鳥取県おもちゃ図書館連絡協議会 塩尻おもちゃ図書館 出雲ふれあいおもちゃ図書館

藤井やゑ子 狩野洋子 井上ミヤコ 吉田涼 NPO 法人めだかふあみりい

《震災支援用として、手作りおもちゃを寄贈していただきました》 順不同・敬称略

東広島おもちゃ図書館ピノキオ 近江八幡市おもちゃ図書館宙 おもちゃライブラリーはばたき

おもちゃ図書館もくば 野の花の会 池田稔 多摩おもちゃ図書館

支援活動関連トピックス

《被災地ボランティア活動》 2011年7月10日(日)

白鷗おもちゃライブラリー 東松島市へ

(小野市民センター・平岡学習センターにて)

白鷗大学協力のもとおもちゃを購入、同系列のはくおう幼稚園の保護者からの寄附によりたくさんのおもちゃを集め、学生ボランティアグループ「かもめの会」とスタッフが主体となり、準備を行いました。東松島では、お子さんたちの前でパネルシアター、エプロンシアター、体操などを発表、牛乳パックを利用した制作も楽しみました。

(当日は館長の粕谷先生ほか、18名が参加されたそうです)



おもちゃの整理とラッピング作業

《東日本大震災・活動支援金のお知らせ》

各おもちゃ図書館独自の被災地における「移動おもちゃ図書館」活動に対して、1活動につき上限5万円の活動支援金を交付します。詳しくは、連絡会HPをご覧ください。

【対象の活動内容】被災地や被災された方の避難先での移動おもちゃ図書館活動とします。

聞いて・聴いて! 相談員コーナー

どうぞよろしく
お願いいたします!



左・岸 右・松原

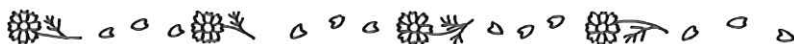
相談日：毎週木曜日

時間：午後1時～5時

相談員：松原ミチ・岸節子

TEL:03-3272-0072

新宿おもちゃの図書館「あいじえん」の松原です。子ども大好き、おもちゃ大好き人間です。おもちゃ図書館を始めた頃の熱い思いはとても強く、この原点を忘れずに、子ども達の澄んだ瞳と笑顔に力をもらって「人のために何が出来るか」そんな気持ちで楽しみながら、ボランティア活動に励んで行きたいと思います。(松原ミチ)



千葉県の佐倉おもちゃ図書館で16年活動しています。東京に出るより成田空港の方が近い、のどかな所に住んでいます。皆様のご相談に、経験豊かな諸先輩の力を借りつつではありますが、力になれば嬉しく思います。どうぞよろしくお願ひします。

どの子ども、大好きな人とおもちゃに出会えますように。

(岸 節子)

☆各地区の研修会についてお知らせ☆

各研修会の詳細は、決まり次第該当地域の皆様には要綱・チラシ等でご案内します。皆様のご参加をお待ちしています。

平成 23 年度子育て支援者向け研修事業・大規模研修会（こども未来財団・全国連絡会の共催）

開催地区	開催場所・会場	開催日
東北	宮城県・仙台市 青葉区カルチャーセンター	2011年12月4日(日)
東海・北陸	愛知県・名古屋市 愛知県社会福祉会館	" 11月23日(祝)
九州・沖縄	大分県・別府市 別府大学 別府キャンパス	" 12月11日(日)

平成 23 年度子育て支援者向け研修事業・小規模研修会(こども未来財団・各地域のおもちゃ図書館)

開催地区	開催場所・会場	開催日
滋賀県	滋賀県・高島市 安曇川ふれあいセンター	2011年11月6日(日)
京都府	京都府・京都市 ひと・まち交流館	2012年1月29日(日)
中国・四国	岡山県・津山市 津山市総合福祉会館	2011年11月6日(日)

☆第20回 全国ボランティアフェスティバル TOKYO

参加者募集中

■日程：2011年11月12日(土)・13日(日) 申し込み締切 10月28日

■会場：東京・両国国技館 青山学院大学ほか

■主催：第20回全国ボランティアフェスティバル TOKYO 実行委員会
東京ボランティア・市民活動センター

「広がれボランティアの輪」連絡会議 全国社会福祉協議会

◇おもちゃ図書館分科会 1日目：あそびにきてね。おもちゃ図書館

2日目：被災地の子ども達に届けよう、楽しい遊びを！

おもちゃ広場
両日開催！



☆ホームページが新しくなりました！

URLは変わりません <http://www.toylib.or.jp/renrakukai/>

住所変更・各種申請書のダウンロードもできるようになりました。
どうぞご利用ください！

新入会員のご紹介

《NO. 703》おもちゃ図書館港南ひまわり (神奈川県)

《NO. 704》地域活動ホームどんとこい・みなみおもちゃ文庫 (神奈川県)

《NO. 705》美浦村おもちゃ図書館なかよし (茨城県)

《NO. 706》おもちゃ図書館トンとん (大阪府)

《NO. 707》大田おもちゃライブラリーじゃりかふえ (東京都)

☆賛助会費ありがとうございました(敬称略・順不同)

井上ミヤコ 澤佐景子

☆寄付金ありがとうございました(敬称略・順不同)

鈴木広子 勝野とわ子 青山美紀子



記事の訂正とお詫び

☆トイ・ポスト 103号 P3

新入会紹介

「おもちゃ図書館なかよしばあく」

正しくは「埼玉県朝霞市」です。

<編集後記>

いつの間にか北の方からは初雪の便りもきかれ、秋らしくなって参りました。今年は特に被災された方々の冬が穏やかでありますように。

今号では、おもちゃ図書館のいろいろな形を見ていただきました。これ以外の少数派も含め、子どもたちの笑顔の為にという思いはひとつでも、さまざまな条件や理由から見事なまでに多様です。その上で、互いを理解し尊重してつながっていく全国連絡会の役割を、大切に果たして行きたいと思っております。皆様のご指導ご支援、変わらずよろしくお願い致します。

そろそろ各としょかんでは、クリスマス会や年末のイベントなどの準備を始める頃でしょうか、予算も時間も厳しいけれど子どもたちの笑顔はやっぱり見たい・・・お互い頑張りましょう！また勉学の秋、各地の研修会にもどうぞご参加下さい。

(岸・松原・隅田)